

熱中小学校オープンスクール もういちど7歳の目で世界を



楽しく、しなやかに、 果てるまで

私の日課

(冬) 薪ストーブに火をつける
リンゴ・人参・夏みかんジュース作る
足の指回転
ヨガレッチ
水を3杯かぶる
コーヒー淹れて新聞読む
朝ごはん
出かけるまたは畑仕事、蜂の世話
夜は晩酌、夕食後早く寝てしまう



老いてからでは
遅すぎる

Y. Hotta

堀田一英

年。これから数十年の余生をどう生きる？ 59歳でIBM 常務を
75歳のいま『熱中学園』を創業し走り続ける堀田が伝えたいこと。

の肩書きを失った時 あなたに何が残りますか

今のうちに貴方だけの「ライフスタイル」を確立することが大切です。
何を持つのか、持たないのか。どこで、誰と生きるのか。熱中できる事は
何か。ライフスタイルをつくるには時間がかかります。だからこそ、今す



[オフィス・コロボックルとは？](#)

[能登半島支援プロジェクト](#)

[エッセイ](#) ▾

[熱中小学校](#)

[食の熱中小学校](#)



Sustainable
Small Office



他力創発を叶える場所

OFFICE KOROBOCL



Scroll



第18章 ジャパンタイムズ主催 「Sustainable Japan Award 2025」 の受賞





2016年5月19日、熱中小学校の全国連携会議の懇親会。熱中小学校の5周年記念パーティーとなった（Facebookの投稿から）

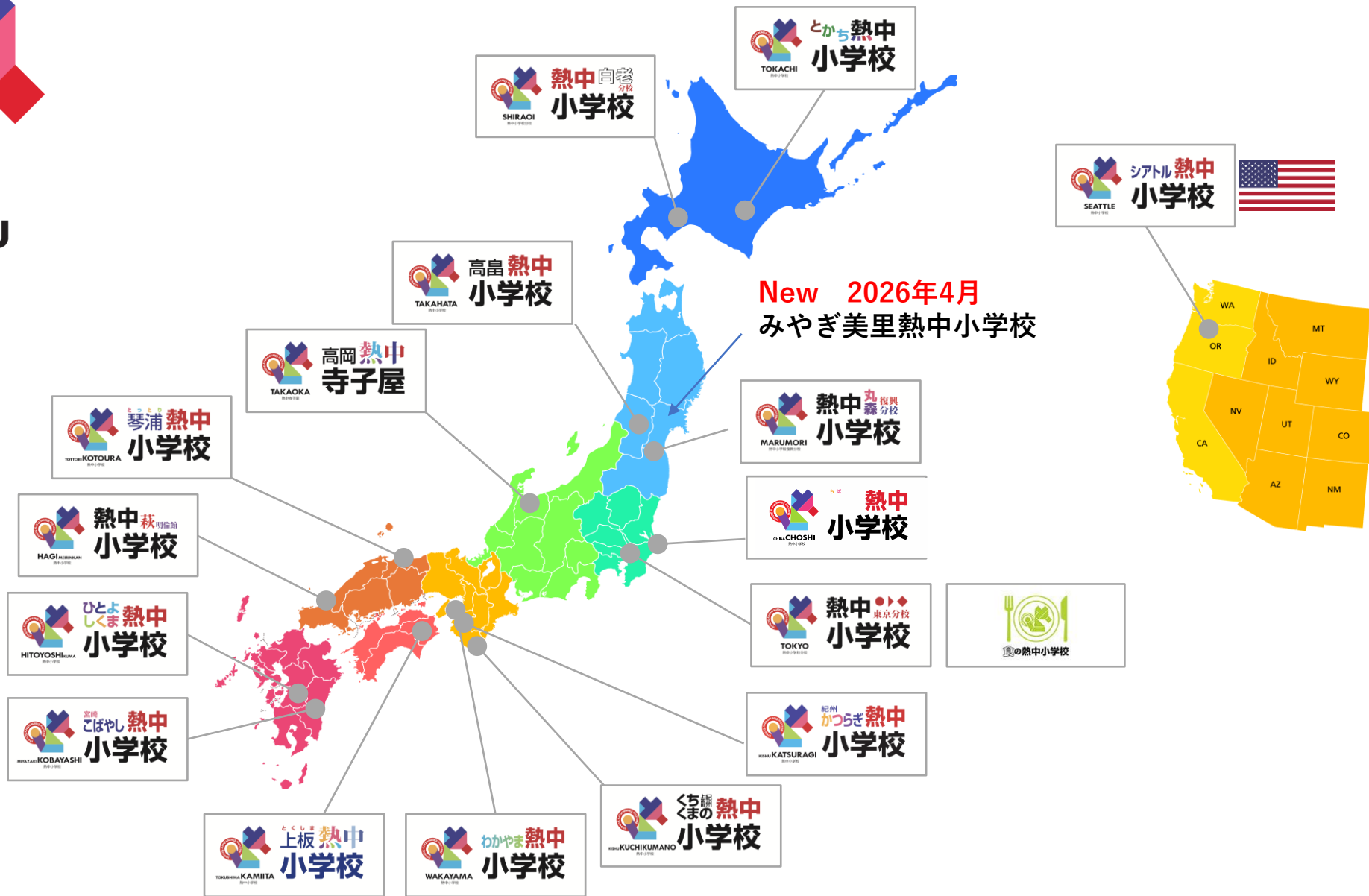


2017年3月27日、第1回熱中小学校校長・教頭会議 @オフィス・コロボックル



NECCHU

熱中小学校



thejapan times

Sustainable Japan Award

2025

Sustainable Award ESG 部門 最優秀賞	阪急阪神ホールディングス株式会社
Sustainable Award Satoyama 部門 最優秀賞	ライフスタイルアクセント株式会社 (ファクトリエ)
Sustainable Award ESG 部門 優秀賞	ユニ・チャーム株式会社
	GLIN Impact Capital
Sustainable Award Satoyama 部門 優秀賞	ヤマロク醤油株式会社 (木桶職人復活プロジェクト)
	株式会社中川
Sustainable Award ESG 部門審査員特別賞	日本医療政策機構
Sustainable Award Satoyama 部門審査員特別賞	一般社団法人熱中学園

Satoyama部門審査員特別賞

一般社団法人熱中学園

2015年には地方創生交付金を活用してプロジェクトを始動し、現在、国内15校と・海外1校米国シアトルを含む16地域で展開。リスキリングや人材育成、起業支援や移住促進を実現し、**教育と地域振興を融合させた先進モデル**です。少子化で廃校となった校舎を再生し多世代多職種が交流する学びと地域再生の場を構築。受講者は経営者から農業従事者、主婦まで幅広く、異業種・異世代の出会いから新たな事業や活動が生まれています。さらに北海道から九州まで広がる各校は、地域ごとの特色を活かしつつ理念を共有し、「*里山プラットフォーム」として展開。地域資源や文化の発信力を高めています。地域の文化や特産品を取り入れることで、外部からの参加者にも地域の魅力を伝え、**単なる学習にとどまらず地域課題の解決や新しい事業のきっかけづくりにもつながっています。人と地域をつなぎ直す“社会教育＋地域再生”モデルであり、持続可能な地域づくりに資する取り組みとして高く評価されました。**

2015年10月3日 大人がもういちど学ぶ学校として再開校



熱中小学校創立三十周年記念

1980年TVドラマ「熱中時代」のロケ地に



『熱中時代』（ねっちゅうじだい）は、1978年10月から1981年3月まで、日本テレビ系列で放送されたテレビドラマのシリーズである。北野先生（水谷豊）と小学生たちを描く学園ドラマ（計2シーズン）である。俳優の水谷豊さんは、『熱中時代』（教師編・第1シリーズ）のロケ地であった

学びを大切にする 地域が繁栄する

記者も書いているように、廃校を再生するのは簡単ではありません。資金や人はもちろんのこと、地域の理解や協力を得るのも必要で、古くて味わいのある校舎には耐震性という課題ものしかかります。地元や母校への強い思いだけでなく、長期のビジョンが必要です。



小学校の強みは、子供が初めて体験する「社会」であり学びの場であること。そこで過ごした時間や感情の記憶を誰もが持っていることでしょう。山形県高島熱中小学校再生にたずさわった日本IBM元常務で内田洋行顧問・堀田一美さんの、「学ぶことを大切にする土地が繁栄するのだと思います」という言葉が刺さります。

Our Precious School 学び舎再び 地域に活気



小学校で開かれたビジネス・コンテスト。「選抜少年ジャンプ」元編集者が審査員となり、生徒らの発表を見守った(山形県高島町)



明治政府が小学校から中学校までの教育制度を定めた「学制」を公布したのは1872年のこと。全国に学校が整備され、近代的な教育が広まった。特に力を入れた小学校教育では、地域の中心部に校舎が建てられ、コミュニティに開かれた「日本総論」の運営さんで、校舎の建設のために、多くの地域有識者や住民たちがお金を出した。

明治政府が小学校から中学校までの教育制度を定めた「学制」を公布したのは1872年のこと。全国に学校が整備され、近代的な教育が広まった。特に力を入れた小学校教育では、地域の中心部に校舎が建てられ、コミュニティに開かれた「日本総論」の運営さんで、校舎の建設のために、多くの地域有識者や住民たちがお金を出した。

堀田さんは、山形県高島町の「廃校」を再生するために、地域の理解や協力を得るのも必要で、古くて味わいのある校舎には耐震性という課題ものしかかります。地元や母校への強い思いだけでなく、長期のビジョンが必要です。

堀田さんは、山形県高島町の「廃校」を再生するために、地域の理解や協力を得るのも必要で、古くて味わいのある校舎には耐震性という課題ものしかかります。地元や母校への強い思いだけでなく、長期のビジョンが必要です。

自然の贈り物 最高の贅沢

「今年は天候不順だったから、どうかな?」。6月初旬、横浜市鶴見区の住宅街にある自宅で堀田一芙（74）さんが期待を抑えるようにミツバチの巣箱に目をやった。きょうは春先から働きバチがせっせと集めたミツを絞る、2021年最初の採蜜の日。中空の木枠を4、5段重ねた重箱型の巣箱が庭で待ち構えている。中では上から下へ垂れるように巣が成長し、上部にはミツがたっぷり蓄えられているはず。でも、開けてみないと分からない。

まずは天井をトントン。中のハチにあいさつした後、慎重に最上段の木枠を切り外した。暗闇に突然差し込む外光にハチの群れが算を乱し慌てる。「大丈夫だよ」と声をかけ、ブラシでそっと払いのけると、褐色の光が見えた。

取り出した巣の重さに、表情が緩む。表面を削ると巣穴からミツがたらーり。堀田さんの両手はミツでべっとり。それをペろり、ペろりと何回もなめ、「いやー、最高の贅沢（ぜいたく）です」。にじみ出るように笑みがこぼれた。



待ちに待ったニホンミツバチのミツを収穫し満足顔の堀田一芙さん。ハチを飼い始め、家庭菜園の実りがよくなり、カエルやヘビも集まる（神奈川県横浜市）



紀州かつらぎ熱中小学校とは

多彩な教諭陣による熱中授業を通じて、
自分たちの新しい価値を発見していく場

新しい仲間と出会い、交流し、創発的な新しい
世界を造り出し、表現・実践していく場

地元を愛し、スキルを身に着け、
高い志で地域活性化の役割を果たしていく場

熱中小学校のコアバリュー：350人のボランティア 教諭陣

[illegible]

紀州かつらぎ熱中小学校とは

多彩な教諭陣による熱中授業を通じて、
自分たちの新しい価値を発見していく場

新しい仲間と出会い、交流し、創発的な新しい
世界を造り出し、表現・実践していく場

地元を愛し、スキルを身に着け、
高い志で地域活性化の役割を果たしていく場

熱中小学校がまちづくりを自分ごとに

森田 剛

- ・近くのまちと比べて新しい店などはできず、
明るいニュースがないまち
パッとしないまちをなんとかしたいと思っていた
- ・時間に余裕がない現役世代に地域の活性化を任せるのは酷だろう
仕事がひと段落ついた自分たちが動きたい
- ・熱中小学校で都市圏の方々との交流を通じて地域の魅力を発見
この地域にも誇れるものがあるんだ！
- ・華岡青洲や町石道の語り部、高野山のガイドとなり、
観光客に魅力を伝える

自分たちにとっては当たり前
でも他所から来た人だから感じる魅力もある
そんな魅力を発信したい



忘れ物の知らせが私を変えた

佐々木淳子

- ・コロナ禍で生活が一変し、職場と家を往復する毎日。
そんな中で出会った「熱中小学校」。
- ・授業後に1通のメールが届いた。
「忘れ物があります。」
- ・ただの連絡だったけれど、私には違った。
お借りしている場所に何か恩返しができないだろうか？
- ・地域のごみ拾いを発案したところ、熱中小学校の仲間が賛同してくれた。
その共感が私の背中を押してくれた。
- ・清掃活動を通して、自分の居場所ができた。
自分の声が誰かの心に届いた。
それが私にとって、何よりの自信になった。

忘れ物の知らせが私にきっかけをくれた
自分にもできることがある
そんな実感が今の私を作っている



紀州かつらぎ熱中小学校とは

多彩な教諭陣による熱中授業を通じて、
自分たちの新しい価値を発見していく場

新しい仲間と出会い、交流し、創発的な新しい
世界を造り出し、表現・実践していく場

地元を愛し、スキルを身に着け、
高い志で地域活性化の役割を果たしていく場



和歌山県かつらぎ町 2023年9月16日(土)～9月18日(月・祝)【費用：60,000円】

『持続可能な食と農を考える林間学校 in 高野山』弘法大師・空海によって開かれた仏教の聖地、高野山。仏教とともにある日本古来の伝統食 精進料理。歴史ある高野山のお寺で宿坊を体験し、精進料理をいただくことで、日本伝統の食文化が持つ持続可能性について、学びます。高野山の麓、かつらぎ町新城地区で栽培し、ブランド化を狙う高原米「新城米」。新城米の収穫を体験します。農業の担い手不足や収益の確保など、地域農業を継続していく上での課題について、農家の方に直接お話を伺い、農業を持続させるための取り組みについて、意見を交わします。最終日の夜は、県内有数の人気グランピング施設で、和歌山の雄大な自然を満喫いただきます。

食 かつらぎで考えた



昼食には新米のおにぎりや郷土野菜の料理が並んだ。いづれもかつらぎ町新城

食料生産地である地方と最大消費地である首都圏との関わりを学ぶ力をつなぎ直す大人の社会塾。そんなうたい文句の学び場が今年、東京で開かれるのを前に17日、その生徒たちが現地実習でかつらぎ町の新城地区を訪れ、農業や当地の食にふれた。

学び場の名称は「食の熱 名乗るのは「もう一度7歳 中小学校。運営するのは「一般社団法人「熱中学校」(東京)で、国内19カ所と「熱中学校」のテーマは「食だ」。

米田1カ所に活動拠点をもち、かつらぎ町新城地区は昨年から活動拠点の一つとなっている。県内には他に二つの拠点がおり、18年に上

東京の学び場から3人 現地実習

ブランド米・果物…魅力を発見

富田町、今年4月には和歌山市にできた。今回の現地実習で新城地区を訪れたのは、横浜在住で熱中学校代表理事の堀田一美さんと、川崎市の外資系会社員、京都府宇治市のグラフィックデザイナーの3人。16日に高野山の宿坊に泊まり、「世界的にヒートアップしている」と話した。16日には新城地区の自治会長、中前光雄さんの水田で稲刈りを体験。鎌で刈り取るのではなく、「持続可能な地域農業を考える」観点から、本職の農業に並みにコンバインを操縦



した。その後、中前さん宅の庭先にテントを張り、地元産半又ヒカリの新米のおにぎりや郷土野菜の昼食を食べた。

デザートはシャインマスカット。足りなくなると、中前さんが庭のすぐ隣のハウスから収穫して食卓に運んだ。標高が400mあるため、残暑が続く市街地よりも気温は4～5度低いといい、高原暮らしの快適さを堪能した。

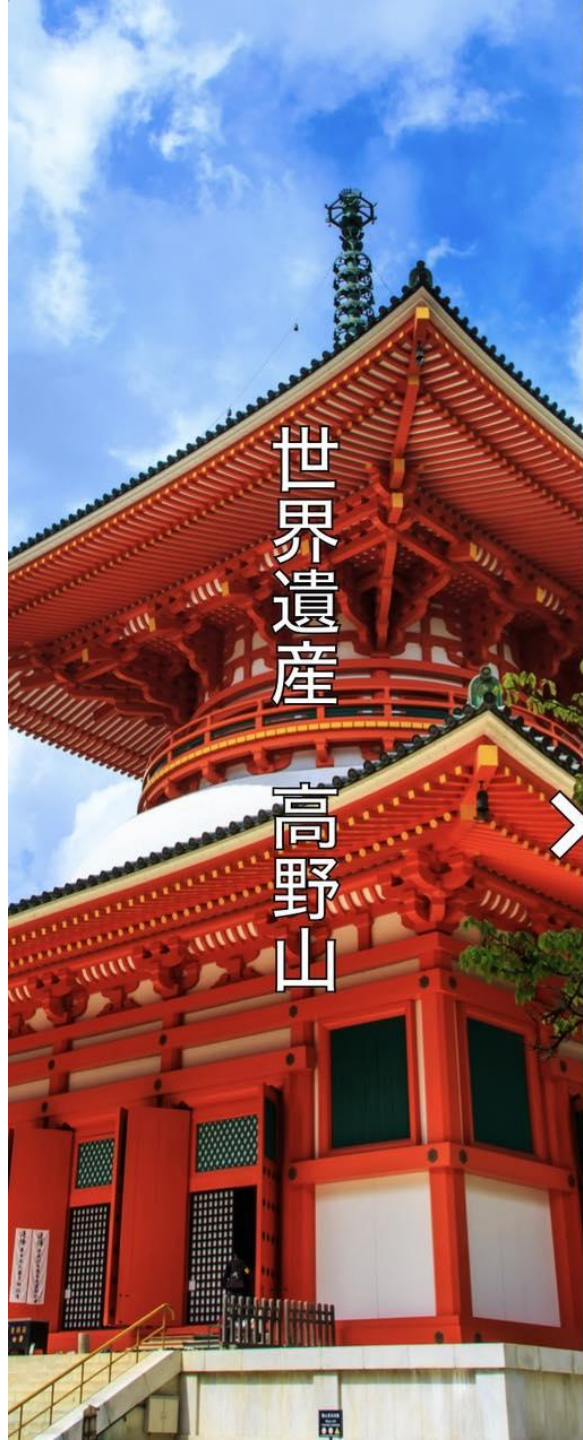
中前さん宅の前を通る国道370号は都会からのサイクルツーリング客がひんぱんに往來しており、地域の価値の創造を考えるうえで堀田さんはここに注目。

「決して孤立した地域ではない。きれいな水に育まれた米のブランド化はすでに始まっている」と聞いたが、立地の面も産品の魅力でも、多様な可能性を秘めていると感じた。

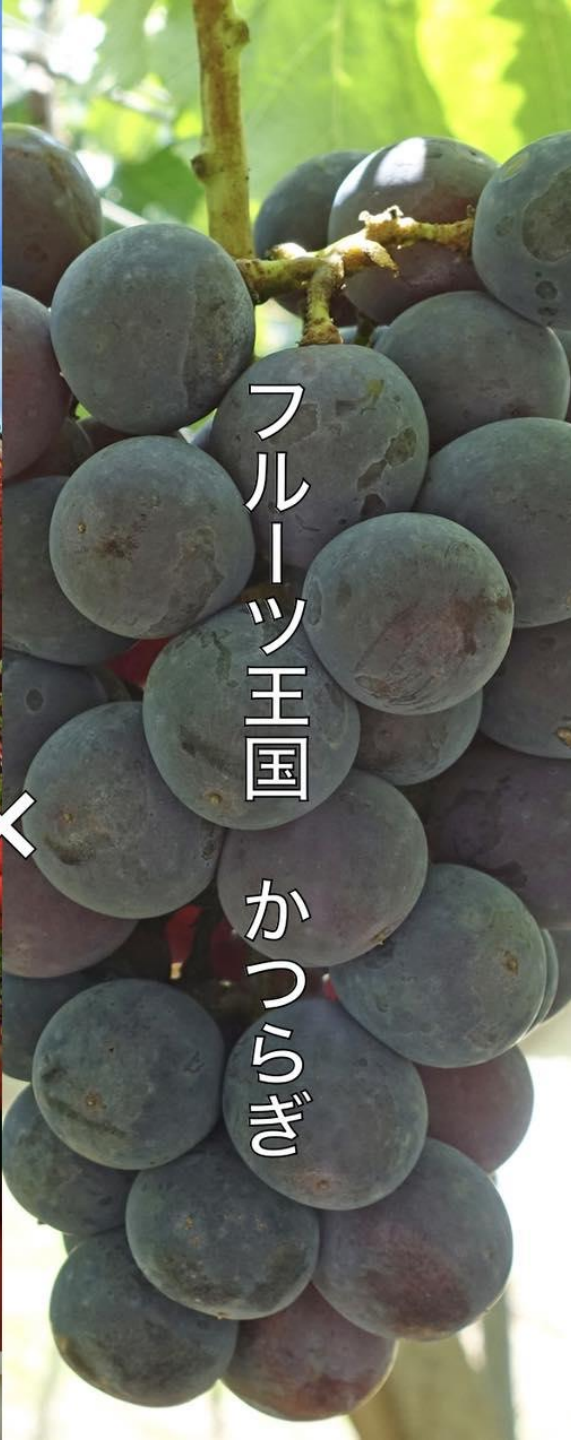
ホスト役の中前さんは「若い人たちを呼び込むため、とにかく前を向いて何かしよう、と心がけています。都念の第一線に身を置くと人に来てもらうの大変に刺激になる。今後も手を携えて知恵を出していきたい」と応じた。(大野博)



食の熱中小学校



世界遺産 高野山



フルーツ王国 かつらぎ



日 付 2025/8/30 (土) - 8/31 (日) 新大阪駅発着
参加費 50,000円 (ぶどうと鮎寿司のお土産付)

Day1 8/30

10:00 新大阪駅集合
13:00 昼食 ごまとうふランチ
14:00 奥之院 ガイド付きツアー
16:30 高野山内散策
18:00 夕食[精進料理] 普賢院
宿坊にて宿泊 (個室)

Day2 8/31

6:00 朝のお勤め 普賢院
8:30 金剛峯寺 見学
10:30 ぶどう狩り
11:30 昼食 柿の葉寿司
13:30 道の駅くしがきの里
16:30 新大阪駅解散



かつらぎってこんなところ！

高野山の麓にあるかつらぎ町は、ぶどう、
を通して収穫されており、新鮮な果物を求
収穫いただく「御所のピオーネ」は粒が大
最後に訪れる「道の駅くしがきの里」は農
野菜が新鮮な状態で並べられています。

果物の産地ならではの新鮮な果物をぜひお楽しみください。

高野山は世界遺産に登録されており、険し





TOKACHI
熱中小学校



HOKKAIDO
と かつ 熱中
小学校

北海道帯広市 地域共創型
ツーリズム事業「NECCHU
FARM JOURNEY ～農家とい
う生き方をめぐる旅～」
「観光地に行く」のではなく「生徒
に会いに行く」ツアーという設計



熱中小の24人 農業現場を視察



農場視察を通じツアー実現へのヒントを探った参加者

ツアー実現の参考に

大人の学びの機会をつくり、地域の活性化を目指す「と かつ 熱中 小学校」は24日、農業につい

て学ぶモニターツアーを開いた。同校の参加者がガイドとなって、十勝ならではのツアー実現に向けた活動の一環、農場視察を通じて、作物と向き合う生活を体験した。

24人が参加し、音更町の波佐農場、帯広市の林農場、更別村のコタニアグリを訪れた。波佐農場では、アスパラガスの収穫を体験したり、トルコギキョウの花を見て回ったり、農業の現場に触れた。代表の波佐潤一さん（74）は「熱中小学校で農業を知ってもらう良い機会になった」と話す。

と かつ 熱中 小学校では、校内連携により十勝を舞台にしたツアーの造成に取り組んでいる。今後、全国各地の熱中 小学校などから旅行者を募る受け皿を作っていきたいと考えた。

事務局長を務める亀井秀

樹さん（43）は「まずは自分たちで体験し、地域の魅力を見直すことが大切。将来的にはわれわれが中心となつて、おもてなしのモデルをつくりたい」と展望を語る。

（月森七海）

2022年9月499本の'熱中ワイン'を高畠ワイナリーから発売



TAKAHATA
熱中小学校



Yamagata pref. **TAKAHATA**

高畠 **熱中**
小学校



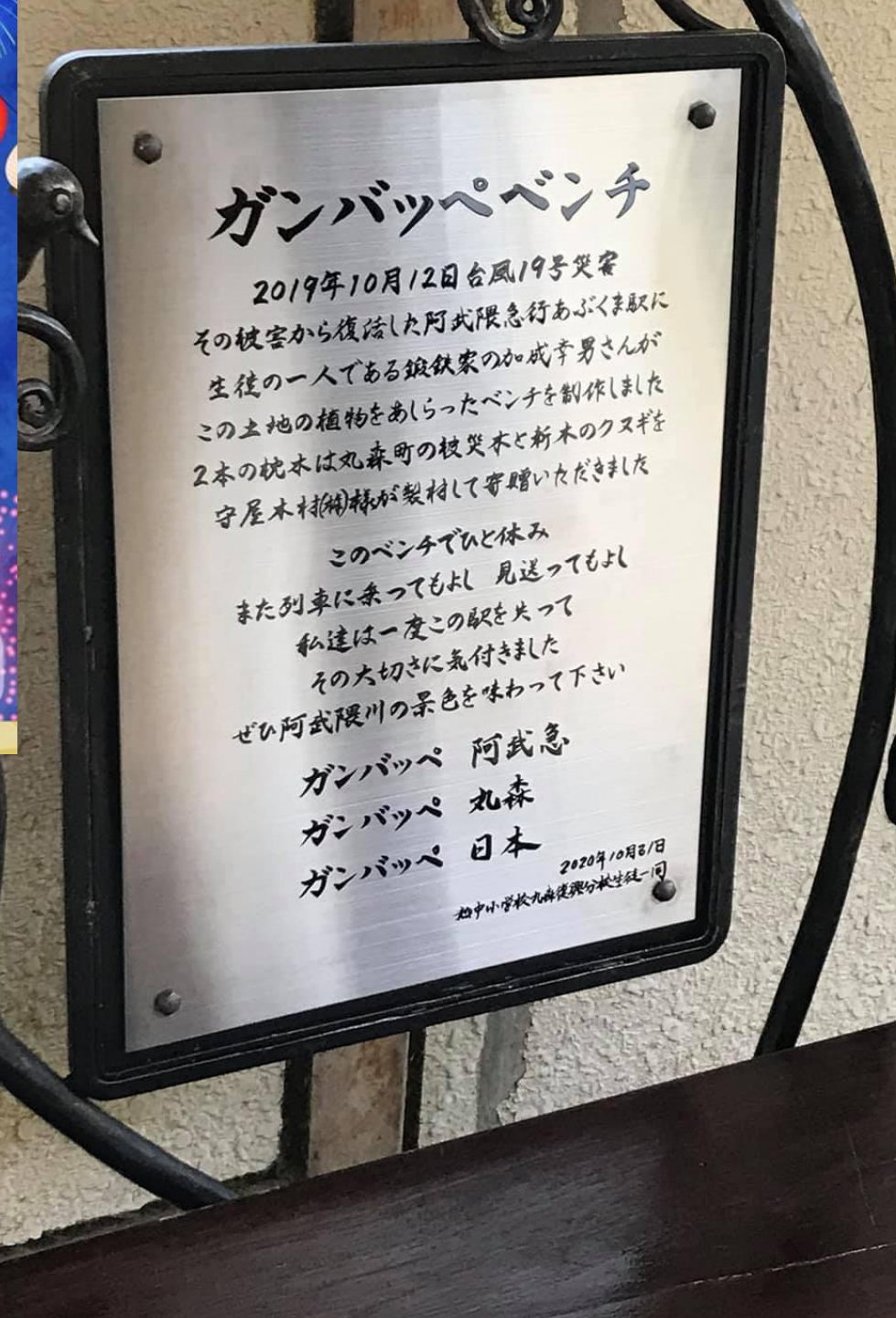


MARUMORI

熱中小学校復興分校



熱中丸森復興分校
MIYAGI 熱中丸森復興分校





CHIBACHOSHI
熱中小学校



ちば CHIBA pref.
銚子熱中
小学校





TAKAOKA

熱中寺子屋

TOYAMA pref. 高岡 熱中
寺子屋





KISHU KUCHIKUMANO

熱中小学校



世界遺産

Wakayama pref. KAMITONDA
くちくまの熱中
小学校



紀州くちくまの熱中小学校





TOTTORI Pref.
とっとり
琴浦熱中
小学校





TOKUSHIMA KAMIITA
熱中小学校







DREAMRAISING.JP

【サポーター募集中！】熊本県南部の豪雨被災地に、復興の力を集結したい！ - リームレイジング - クラウドファンディング



セミナー定員
50名

事前
予約制

どなたでも
参加可

北海道芽室町・山口県萩市・熊本県人吉市

自治体合同オンライン 移住セミナー

「地方移住を検討しているけど、どの地域が良いのか、自分に合っているのかわからない…」とモヤモヤしているあなたのために、北海道・山口県・熊本県、3つの地域の話と同時に聴くことができるセミナーを開催します！それぞれの地域の話聴くことで、ぼやけていた地方移住についてのイメージが今よりも明確になるかも知れませんよ。ご希望があれば、後日、興味を持たれた地域の担当者と直接話す機会も設けます（予約制）この3地域合同での開催は、今年度今回限り！ぜひご参加ください！

参加
無料

日程 2025年1月15日(水)
時間 20:00～21:30

こんな方におすすめ

- ☒ 地方での暮らしに興味がある
- ☒ 同時に複数の地域の話聴いてみたい
- ☒ 各地域の移住の支援制度について知りたい
- ☒ 移住を検討しているが、どの地域が自分に合っているかわからない

お気軽にご参加ください!!

参加ご希望の方！詳細・登録はこちら！



北海道芽室町

八所 かおり

NPO法人Qucurcus 副代表理事

鹿児島県肝付町生まれ。大阪府枚方市育ち。大阪と東京でプロのナレーター・声優として活動後、北海道へ移住。2018年5月に、芽室町にてシティプロモーション・移住定住担当の地域おこし協力隊着任。2021年4月末に退任後、他の隊員とともにNPO法人Qucurcus設立。芽室町からシティプロモーション・移住定住事業と職業紹介事業を受託している。趣味は一人旅と乗馬。



山口県萩市

蛭子 亜伊

萩市おいでませ、豊かな暮らし応援課

福岡県出身。結婚を機に令和2年に萩市へ移住。同年萩市役所へ入庁。移住定住の担当課「おいでませ、豊かな暮らし応援課」へ配属される。移住担当5年目。移住者の目線で萩市への移住定住の促進、中山間地域の活性化に取り組む。現在、子育て仕事の両立に奮闘中。



熊本県人吉市

祇園下 千裕

一般社団法人ドットリバー

熊本県人吉市生まれ。大学を卒業後、帰郷。初任人吉市でインターンシップとして、観光事業に携わる。地域の抱える課題を勉強したいとの思いで政治家秘書を経て、4年間の活動を経て、一般社団法人ドットリバーの設立に携わり、人吉市まち・ひと・しごと総合交流館の前館長として、様々な関係人口創出の取り組みを実施している。



【参加地域】北海道芽室町・山口県萩市・熊本県人吉市

【問い合わせ】一般社団法人ドットリバー 担当：祇園下(ぎおんした)

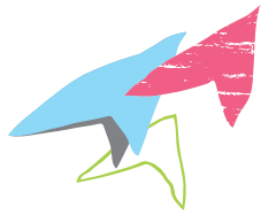
Mail : office@dot-river.com

【主 催】一般社団法人ドットリバー・NPO法人Qucurcus・萩市

Japan Fair2024に参加



SEATTLE
熱中小学校



USA
シアトル熱中
小学校



熱中パスポート制度 & 遠足







のりと復興音楽ツアー @大阪・関西万博

～ 音楽の力による心の復興～

のりと復興音楽ツアー「のりと・おん」はこれまでに能登町、七尾市、珠洲市、輪島市で

Soul & Beat TEN-CHI-JIN と地元の音楽愛好家が共演しました。

その中学生、高校生や若い人達が8月23日(土)大阪・関西万博のステージで演奏します！



'25/02/09 能登町 ウインド・オーケストラのりと

'25/02/11 七尾市 七尾太鼓スペシャルコラボチーム



'25/03/16 珠洲市 スプリングコンサート

'25/05/18 輪島市 輪島萬太鼓 輪島・虎之介

2025. 8/23 (土)

会場：大阪・万博 ポップアップステージ(北)

11:00~11:30
のりと吹奏楽団①

12:00~12:30
のりと吹奏楽団②

15:30~16:00
のりと太鼓チーム①

16:30~17:00
のりと太鼓チーム②

18:00~19:00
Soul & Beat TEN-CHI-JIN



<https://www.tenchijin.info/index.html>
天地人ホームページ

のりと復興音楽ツアー「のりと・おん」は、令和4年度岩手県産品振興計画の事業の一環として、被災地の復興を支援する目的で、Soul & Beat TEN-CHI-JIN とともに、能登半島各地で地元の音楽愛好家と協賛するのりとポップアップコンサートを開催しています。

のりと・おんののりと復興音楽ツアー

これまでの活動

参加中学校・高等学校

ホームページ



協賛株式会社 内田洋行
後援 石川県
お問合せ 一般社団法人熱中学園 Email: info.necchu@gmail.com

UCHIDA



noto on
のりと復興音楽ツアー

9月21日

石川県

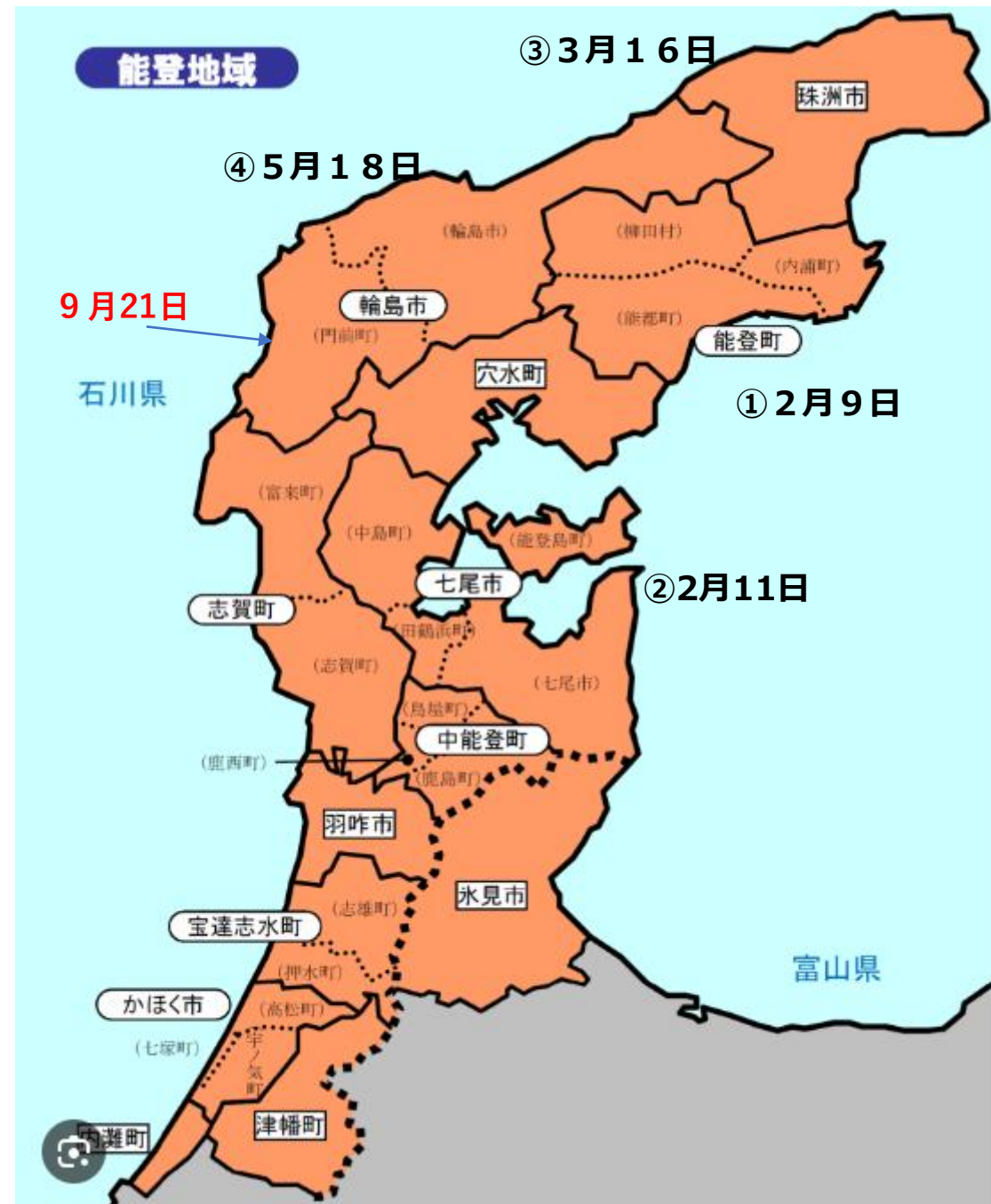
能登地域

③ 3月16日

④ 5月18日

① 2月9日

② 2月11日



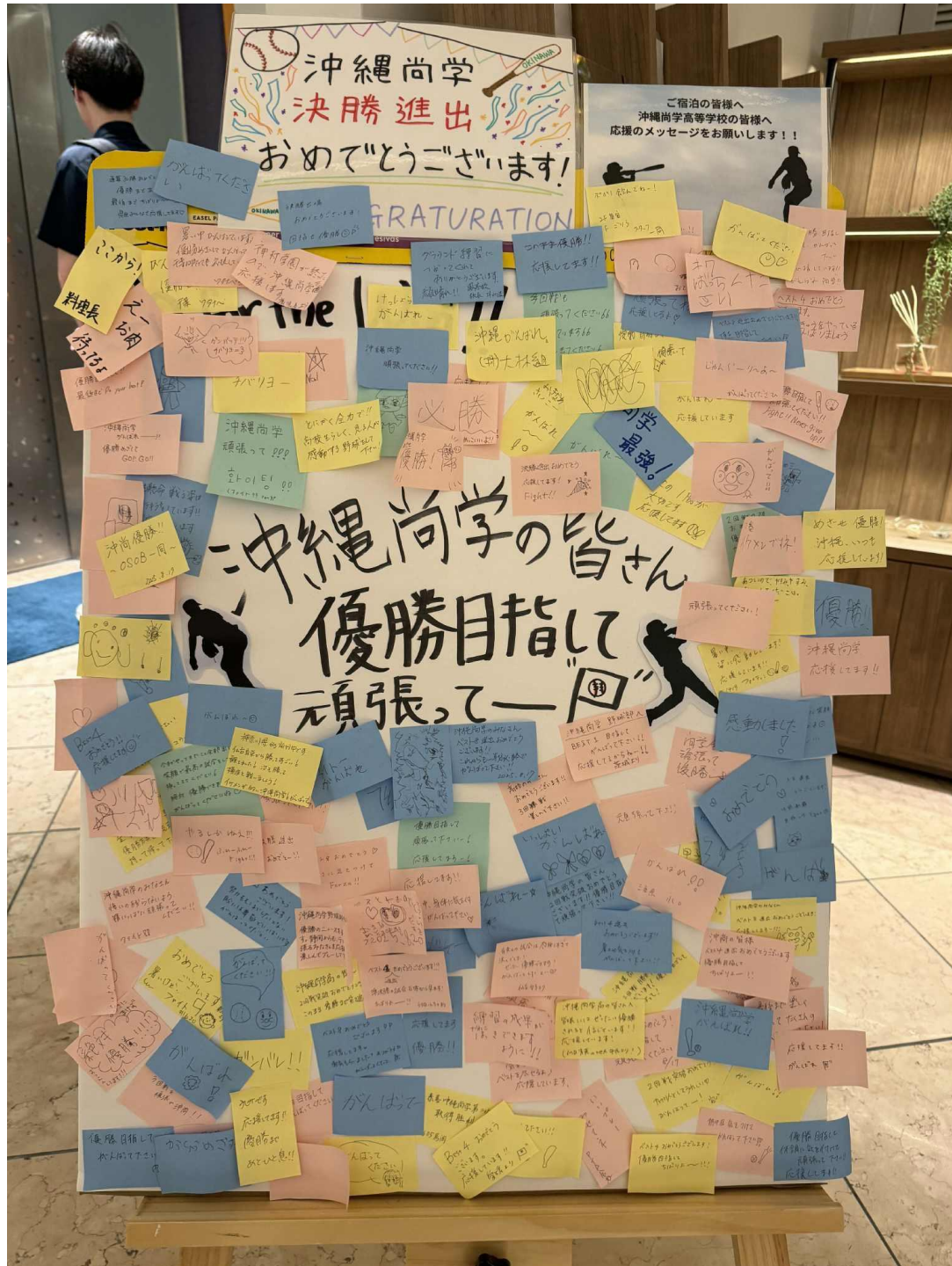
大阪・関西万博参加

吹奏楽チーム「のと・おん吹奏楽団」

太鼓チーム名「能登Dream Drummers」

後援：石川県協賛：（株）内田洋行 サントリー様 クラウドファンディング





復興の鼓動 万博で響かせ

七尾の豊年太鼓13団体



大阪・関西万博で演奏する出
演者＝大阪市此花区の夢洲
(メンバー提供)

小学生から50代の36人

「世界の祭典」で復興の鼓動が響き渡った。七尾市の和太鼓合同チーム「能登 Dream Drummers」は23日、大阪・関西万博の会場で能登に伝わる豊年太鼓を披露した。能登半島地震からの復興をイメージして作成した曲で、メンバーは地震から立ち直る姿を表現するとともに、国内外から寄せられた支援に感謝を伝えた。

感謝と伝統、世界へ発信

七尾市などの豊年太鼓13団体から選ばれた小学生から50代までの男女36人が屋外広場「ポツアッブステーション北」で演奏を繰り広げた。七尾をはじめとした能登の被災状況や自宅が大規模半壊などの被害を受けたメンバーが紹介された後、演奏が始まり、メンバーは鉦や笛の音色に合わせ、豊年太鼓をベースに万博用に作成したオリジナル曲「波瀾響和」を打ち鳴らした。

出演者によると、ステージ周辺は大勢の観客で埋め尽くされ、演奏後は大きな拍手に包まれた。観客からはアンコールの歓声も上がった。涙を流しながら演奏を聴く観客や「ありがとう」と感想を伝えてきた観客もいたという。

万博出演は、地方活性化に取り組む団体「熱中学園」(東京)などを介して決まり、4月から練習に励んできた。不足分の太鼓は浅野太鼓楽器店(白山市)や輪島キリコ太鼓保存会(輪島市)などから借り受けるなどして賄った。

チーム代表の山崎弘生さん(35)は「めったにない機会をいただけたことに感謝している。能登の太鼓界の発展につながったうれしい」と話した。

輪島市街地の4神社で連
続開催される「能登半島
復興支援フェスティバル」

言葉

2025年(令和7年)8月22日(金曜日)

(第3種郵便物認可)



万博の演奏を前に練習に励む太鼓チーム(七尾市立和倉小学校で)

七尾のチーム あす披露

感謝の和太鼓 万博で

七尾市の和太鼓合同チームが23日、大阪・関西万博で演奏を披露する。能登半島地震からの復興の折りを込めた約25分の渾身の創作曲を届ける。

(石塚人生)

能登地方は太鼓が盛んで、多くの団体が活動。市内の12団体で「能登 DREAM DRUMMERS(ドリム・ドラマーズ)」を今回結成した。メンバーは小学4年生から55歳までの33人だ。

一般社団法人「熱中学園」(東京)が今年2月、同市でプロの音楽家と地元太鼓7団体による復興支援コンサートを開いた。これがきっかけとなり、同法人が万博での演奏を企画した。

コンサートの中心となった「和倉いでゆ太鼓保存会」が呼びかけ、合同チームが結成された。4月から毎週日曜、市立和倉小学校体育館で練習を重ねた。

万博で披露する曲は「波瀾響和」。太鼓23個、鉦、笛の迫力ある演奏で、能登

半島地震という荒波を乗り越え、心を一つに前に進む思いが込められている。

同保存会代表の山崎弘生さん(35)は「多くの方々の支援で、ライバルだった各団体が集まる機会をいただけた。能登への支援に感謝を伝えるため精いっぱい太鼓をたたきたい」と話す。

小さな太鼓はメンバーの自前だが、大太鼓は能登半島地震前は和倉温泉の各旅館に置かれ、宿泊客らに演奏を披露していた。被災した旅館の解体が進む中、太鼓の保管場所にも苦労しているという。足りない太鼓は浅野太鼓楽器店(白山市)と輪島キリコ太鼓保存会(輪島市)が提供した。

参加する能登香島中学校2年の杉原映彩さん(14)は「世界のみなさんに、能登は元気で頑張っていることを伝えたい」と意気込む。

演奏は23日午後の2回で、万博会場北側の「ポツアッブステーション北」で行われる。

決勝
太鼓



能登復興のために関心を繋ぐ活動「のと熱中授業」

テーマは「能登の未来が 日本の未来になる」

熱中小学校の先生が能登半島の文化、生活を

体験しながら 授業を創ります

不定期開催で約1年かけて実施します

原則ネットによる授業で、無料、どなたでも参加できます

目的は能登半島の関心を継続する事

①産業 農業・牧畜・漁業・加工業

②文化芸術 音楽・映像・祭り

③学び 里山里海 食

主催：社団法人熱中学園

事務局：熱中小学校丸森復興分校事務局長 伊藤航

モデレーター：吉澤隆（熱中教諭：ネット配信担当）





第6回 のと熱中授業

参加募集!

どんなでも
ご参加
いただけます

能登の未来が 日本の未来になる

オンライン授業
参加無料!

お申込は
QRコード
より

9 27

日 時: 9 月 27 日 土 13:00~14:30
(12:45~zoom入室開始)

テーマ:「能登の里山で暮らしをデザインしてみた」
～東京生まれ、アメリカ暮らしを経て、能登に21年～
講 師: 萩のゆき デザイナー、環境活動家、コラムニスト、和菓子店主、ときどきガーデナー
: 安部信次 熱中小学校丸森復興分校教頭、宮城県丸森町 つぶら農園主

ZOOMを
使って
オンライン

受講ご希望の方は
QRコードより
お申込みください。▼



萩のゆきさんが暮らす輪島市三井町は日本の原風景をそのまま残したような奥能登の中山間地。21年前にアメリカから移住したことから始まる「田舎暮らし」を夢見る都会人一家の理想と現実。豊かな自然に囲まれて、集落の人々の伝統的な暮らしの知恵を授かり、がむしゃらに、時に面白がりながら暮らした日々をご紹介します。



能登の里山で暮らしを デザインしてみた

～東京生まれ、アメリカ暮らしを経て、能登に21年～

「日本人としてのアイデンティティ」とか、「教育の自給自足」とか、「やりたいことを仕事にしたら」とか日本の最果ての森の中でモヤモヤと考え、どうにかこうにか乗り切ろうと、気がついていたらちょっぴりついていた「生きる力」のお話です。



能登の里山海山の商品開発のデザイン事例、土地に根ざした学びの場「まるやま組」の環境活動事例、小豆の栽培から始める和菓子製造の取り組み、そして能登半島地震を経て、取り組み中の二ホンミツバチの庭について、宮城県丸森町の安部信次さんとお話いただきます。



萩のゆき
デザイナー、
環境活動家、
コラムニスト、
和菓子店主、
ときどきガーデナー

安部信次
熱中小学校丸森復興分校教頭、
宮城県丸森町 つぶら農園主



第7回 のと熱中授業

参加募集!

どんなでも
ご参加
いただけます

食の熱中小学校授業との共同開催
X: 92.94 mm
Y: 17.57 mm

能登の未来が 日本の未来になる

オンライン授業
参加無料!

お申込は
QRコード
より

10 29

日 時: 10 月 29 日 水 19:00~20:10
18時30分から19時までは
「食の熱中小学校」第5期入学式があり、
いつでも入室可能です

受講ご希望の方は
QRコードより
お申込みください。▼

ZOOMを
使って
オンライン



能登の農業の未来と循環

令和6年能登半島地震と奥能登豪雨により、農地や農業施設などに大きな被害が発生しました。石川県では「能登の基幹産業である農業の再建なくして能登の復興は無い」との思いで、単なる復元にとどまらない「創造的復興」を目指しています。

農地の集約化やスマート農業を通じて生産力を確保することを基本に、本県の特徴ある農産物の販路拡大や環境負荷の低減に取り組むこととしており、今回は創造的復興の過程と能登の未来についてお話しします。



浅野大介◎石川県副知事



熱中小学校・熱中学園
ホームページ
<https://necchu-shogak.kou.com/>
※お問い合わせは一般社団法人熱中学園 事務局まで



命のメジャー 人生の物差しをさがして。。

生きる喜びを人と分かち合うことの醍醐味

年長者がリスクを負うことによって種を守る 大いなる自然の知恵

自分たち年長者が行動することによって若い人にタスキを渡したい

人は良く あの人材のネットワークをもっているから とか紹介して

ほしいとか言いがちだ でも本当は駅伝のように 人は必死に走り

ながら 一緒に走ってくれる次の人にタスキを渡そうと頑張るのだ

人材がいるわけでない 次に走ってくれよと託すのだ

タスキを渡されたら 仲間が繰り上げスタートにならないように頑張るのだ

「面白い」をきっかけにして、多くのコミニティーに参加する

そこから、貴方の人生のメジャー‘物差し’を磨いて下さい



KISHU **KATSURAGI**
熱中小学校



紀州 pref. WAKAYAMA **かつらぎ熱中**
小学校

さあ、貴方も！

熱中小学校」の特徴は地域に関わる人達が自主独立の精神で運営する大人の学び舎であること。

目的は7歳の目、つまり好奇心旺盛な時の気持ちに立ち返り地域での生き方を考えようというものです。

構成する多様性ある生徒さん全員の成長で進化を繰り返していきます。